

◆筆記試験① 外国語(英)

「比較法・制度研究、海外の先行研究や一次資料の渉猟を可能にし、研究上の見識を広げ、深めるのに必要な外国語能力の基礎の有無を確認します。特に所定の時間での確に外国語情報を処理できる能力を評価します。」

◆筆記試験② 専門科目(民法、商法、労働法)

「法学・政治学の基礎的素養を前提に、現代社会の複雑な法的課題に対して、理論的・実証的・批判的に考察し、論理的に表現する力を評価します。多様な法分野における専門的知識と、将来の専門職としての資質・意欲を確認します。」